



年頭のご挨拶

沖縄総合事務局長 能登 靖

平成29年の新春を迎え、謹んでお慶びを申し上げます。

6月に沖縄に着任しようやく半年が経ちました。経済産業部にいたときから2年ぶりの赴任ですので僅かな期間の不在とも言えますが、沖縄の変化のスピードは本当に早いものだと実感しています。

昨今の沖縄は、観光で訪れる人は著しく増え、年間800万人を越える勢いです。沖縄とアジアとの距離は一層近くなっており、例えば台湾は沖縄からは今では便は一日に7便もあります。料金も安いものだと、往復1万円もしないそうです。今晚ちょっと美味しい物を食べたいから台湾にという感じでしょうか。香港も調べてみるとこれも片道6千円程度で行けるそうです。知らず知らずの内に沖縄からアジアに出るのがずいぶん便利になってきています。

アジアの中心に位置する地理的優位性を活かすことが基本的な戦略ですが、去年は第三回目となる沖縄大交易会が開催されました。全国から参加されるサプライヤー、海外から参加されるバイヤーも増え、沖縄を起点とした日本とアジアのビジネス面での交流も盛んになりつつあります。アジアへのグローバル展開が着実に進展しているように思えます。

しかしながら一方では、とにかくどこに行っても道が混んでおり、東京よりも渋滞しているのでないかと思っていましたが、車の移動速度の統計を見ると全国最悪の数字ということでした。こういうこともあり、県内の関係者の方々にお集まりいただき、有識者懇談会を開催しました。公共交通機関の利活用拡大、自動運転の実証実験、自転車道の整備など様々な提言を頂き、着実に具体化を図っていきたいと考えています。

アジアの活力を取り込みつつ課題を解決しながら、沖縄の潜在力を具現化し活力ある沖縄振興を推進していくため、微力ながら貢献していきたいと思っています。

今年もどうぞよろしくお願いいたします。